

ちの

市議会だより

令和3年12月定例会

第40号
2022.3.1



議会報告・意見交換会の全体会場の様子（茅野市市民活動センター「ゆいわーく茅野」）



もくじ

- ▶ 議会報告・意見交換会 …………… 2
- ▶ 委員会の審査、本会議討論
…………… 3~6
- ▶ 議決結果・賛否一覧 …………… 7
- ▶ 一般質問通告一覧 …………… 8~9
- ▶ 請願議決結果 …………… 9
- ▶ 常任委員会活動報告
…………… 10~11
- ▶ 議会改革中間報告 …… 11~12
- ▶ 編集後記 …………… 12



初のオンライン併用での議会報告・意見交換会
手前のタブレットには、オンラインでの参加者が映しだされています。



～令和3年10月18日に市民活動センターで 議会報告・意見交換会を開催しました～

議会では、市民の皆さんからの意見、要望等をお聞きし、政策立案に結びつけること、身近で開かれた議会活動を目的として、議会報告・意見交換会を開催しました。

コロナ禍でも安心して参加していただけること、幅広い年代の方々にも参加していただくことを踏まえ、今回は、会場での対面に加え、ウェブ会議システム（Zoom）によるオンライン（写真）を初めて併用し、「コロナ禍における共生社会」をメインテーマに6グループに分かれ3テーマについて意見が出された一部を紹介します。（会場参加＝10名・オンライン参加＝9名）

また、頂いた意見の内容は議会で話し合い、それぞれの対応はホームページに掲載されていますのでご覧ください。



～今回参加者のみなさんから出された意見等～

暮らしと地域力を高めるコミュニティ

- 太陽光発電について保育園近くの田んぼに太陽光発電設置の予定があったが、保護者等からの反対で事業者は撤退した。遊休農地の利用が問題ではないか。
- 地域力を高めて若者を呼ぶ方策はあるのか、コミュニケーションの仕方が従来と違うので考え方を変えないといけないのではないか。

地域経済の活性化策

- 高齢化社会に向けた茅野市のありかたを示すことにより、市民が安心して暮らせるのではないか。
- 近所で空き家が増えている。空き家対策をどのように進めているか、また活用方法を検討されているか。

学びと高齢者障がい者支援

- コロナ禍で人と接する機会が減り視覚障がい者の不都合がある。障がい者の生活の安定を目指す茅野市であってほしい。
- 不登校や特別支援学級について家庭や親の支援を充実させてほしい。

「議会報告・意見交換会へのご参加をお待ちしています」

人との距離を保つ生活様式で、声が出しづらくなってしまっています。しかし、こんな時だからこそ、市民の方々の声を拾い、聞き逃すことなく、ポストコロナでも、市民に開かれた議会、意見交換会が開催出来るように、日時等にじばられない開催方法を今後検討していきます。



令和3年12月定例会のあらまし

茅野市議会12月定例会は、11月29日(月)から12月17日(金)までの会期で開催しました。補正予算や条例など議案16件を審議し、いずれも原案どおり可決、承認、同意しました。

また、諮問1件の審査請求を審議し、「審理員意見を妥当と認める。なお、意見を付する。」と答申しました。さらに請願1件を採択し、意見書案1件を可決しました。可決した意見書は国などに提出しました。各議案の一覧及び議決結果は、7ページをご覧ください。



②

- 制度融資あっせん等事業費で、新型コロナウイルス感染症の拡大により制度融資の利用件数が増えることが見込まれるために、中小企業制度融資保証料補助金として1000万円
- 住宅団地管理費で、住宅建設促進事業補助金として400万円
- 消防団活動支援事業費で、水防活動のための消耗品費として343万9千円

議案第70号

全会一致で

令和3年度茅野市 一般会計補正予算(第13号)について

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ4億3718万4千円を追加し、歳入歳出それぞれ306億1976万9千円とするもの。

主な補正内容

- 民生費で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた子育て世代の生活を支援するため18歳以下の子どもがいる世帯に対する給付金として4億2250万円
- 民生費で、緊急小口資金及び総合支援資金の貸し付けが終了した一定の困窮世帯に対する自立支援金として936万円

議案第71号

全会一致で

令和3年度茅野市 一般会計補正予算(第14号)について

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2800万円を追加し、歳入歳出それぞれ306億4776万9千円とするもの。

内容は福祉灯油等助成事業給付金として補助金2700万円を主に、民生費の各種援護事業費で合計2800万円。

①

委員会における主な議案の審査

予算決算委員会

委員長 長田 近夫

議案第68号

全会一致で

令和3年度茅野市 一般会計補正予算(第12号)について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億3134万円を追加し、歳入歳出それぞれ301億8258万5千円とするもの。

主な補正内容

- 地域公共交通事業費で、AIオンデマンドを取り入れた新しい地域公共交通を導入するためのシステム構築をするための委託料605万円
- 諸費で、各種国県支出金の過年度精算に伴う返還金のための償還金利子及び割引料として5051万4千円
- 税務事務費で、市税過年度分過誤納還付金が当初計上よりも多く見込まれることによる償還金利子及び割引料として1000万円
- 長野県後期高齢者医療広域連合負担金で、令和2年度の負担金の確定に伴う負担金の補正増で2984万5千円
- 温泉施設管理運営費及び観光温泉施設管理運営費で、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で採算が悪化している温泉施設指定管理者の事業継続を支援するための持続化支援金として、補助金が合計で6000万円
- 保育所運営費で、保育業務支援システムの導入に係るシステム構築他委託料、工事請負費、端末購入のための備品購入費などとして合計3012万2千円

④

本会議における討論

反対討論

「本件処分は本当に違法なのか、市長は答申の出る前に何故『法に反する』との意思表示をしたのだろうか、これまでの処分も違法だったことになるのでは、など納得しきれないでいる部分が私を含め委員にあることを感じた。そう言った事情を踏まえれば、本答申案を議会が全会一致で可決することは望ましい姿ではないと考える。」（小尾一郎議員）

経済建設委員会

委員長 伊藤 勝

議案第 58 号 市道路線の認定について (玉川長峰地籍)

全会一致で 

道路法の規定により市道路線を認定するもの。玉川長峰地籍で宅地造成に伴い新設された道路の認定。

問「袋小路の市道の危険性と今後も袋小路を認定するのか。」

答「茅野市市道認定基準等に関する要綱のなかで、安全面も確保した要綱になっている。袋小路の規制については今のところ考えてはいない。」

問「車の切り返しができるように区画以外の余地の活用はできないか。」

答「歩道の基準でつくられているので、それ以上のことは考えていない。」

議案第 60 号 公の施設の指定管理者の指定について (茅野市コワーキングスペース)

全会一致で 

茅野市コワーキングスペースの指定管理者を、一般社団法人まちライブラリーに指定するためのもの。指定の期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

問「地元に対してどのような連携をするのか。」

③

総務環境委員会

委員長 小尾 一郎

議案第 65 号 茅野市情報プラザ条例を 廃止する条例について

全会一致で 

平成 14 年 9 月に諏訪東京理科大学内にオープンした茅野市情報プラザを閉鎖するためのもの。

問「ワークラボで代替できるのか。」

答「情報プラザで行っていた住民ニーズに沿った形のものは、今まで通りに行っていく。」

問「あったものがなくなるわけで、どこでどうそれを担保していくのかを明確にしてほしい。」

答「地域の 4 エリアのサービスセンター、10 地区のコミュニティセンターも代替施設になりうると考えている。」

諮問第 2 号 下水道使用料の賦課及び 徴収に関する審査請求に係る諮問について



審理員意見を妥当と認める。なお、意見を付する。

「下水道使用料 4,301,896 円の賦課及び徴収処分は、茅野市下水道条例の規定に基づかず、下水道法に違反し違法な処分であるので取り消しを求める。」との審査請求が市内に事業所を有する法人より提出されたことに伴い、地方自治法の規定により議会に諮問がされたもの。

市行政側の審理員及び審査庁の意見について説明を聞き、諮問書資料を考察し協議を重ね、答申案の合意形成を図った。

委員会答申案は次の通り。(原文そのまま)

「審理員意見を妥当と認める。なお、審理員付帯意見に加え、以下の意見を付する。公共下水道の使用を前提としていない雨水や湧水が、審査請求人を起因者として公共下水道に流入し、処理に費用が発生していることは事実である。茅野市長と審査請求人との間で交わされた協定及び覚書に則り審査請求人に速やかに対応を求め、本件により諏訪湖流域下水道を構成する関係市町村に不利益が生じないように的確な処置を至急講じることを強く要望する。」

⑥

合においての指定管理期間や手続き、指定管理者選定審査会への諮問までの手順などが示されている。」

問「平成 18 年以降、指定管理者指定は今回 5 回目だが、過去 4 回の応募状況はどうだったのか。」

答「指定管理者の指定は、初めのうちは公募によらず茅野市総合サービスへの随意指定であった。3 回目の公募において 2 社の応募があり、その時は経験を評価し茅野市総合サービスに決定した。それ以降は今回も含め応募は 1 社のみであった。」

問「コロナ禍で指定管理者も大変だったと思うが、今後も雇用は確保していただけるのか。」

答「指定管理者から雇用の確保には引き続き努めていくと聞いている。」

議案第 62 号 全会一致で 
**公の施設の指定管理者の
 指定について（茅野市高齢者福祉センター）**

茅野市高齢者福祉センター塩壺の湯の指定管理者を、茅野市総合サービス株式会社に指定するためのもの。指定の期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

問「塩壺の湯は高齢者の健康福祉に貢献する施設だと思うが、今までも同じ指定管理者でやってきて、評価される点は。」

答「温泉がある施設であり、そこを含め高齢者福祉センター管理業務に慣れていること。高齢者の健康福祉については、これから協議する中で何かできていければと思う。」

議案第 67 号 全会一致で 
**茅野市国民健康保険条例の
 一部を改正する条例について**

健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、出産育児一時金に関する規定を整備するためのもの。

問「なぜ国は出産育児一時金を上げて、産科医療補償制度を下げたのか。」

答「産科医療補償制度の掛け金が安くなったというのが、先にある。今まで 42 万円を支給していたが、そこは維持をしたいということ、掛け金が下がり、その

⑤

答「これまでも関わってきている。また今の現場のスタッフはそのまま雇用される。」

問「茅野市のコワーキングスペースの一番の売りは。」

答「利用者同士の交流、ワーケーション、駅に近いという地理的魅力、諏訪東京理科大が近くにあること。」

議案第 61 号 全会一致で 
**公の施設の指定管理者の
 指定について（茅野市白樺湖温泉総合施設）**

茅野市白樺湖温泉総合施設の指定管理者を、茅野市総合サービス株式会社に指定するためのもの。指定の期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

問「食堂の考えと、コワーキングスペースの検討は。」

答「食堂は売上が伸びないこと、土日営業、働く人が高齢になったことで去年の 12 月に閉業し今後の計画はない。コワーキングスペースは場所の問題と事業者からも提案もないので検討していない。」

問「すずらんの湯と他の 6 温泉の違いは。また自主事業の考えは。」

答「市民の健康増進と市内観光産業の活性化という設置目的が違う。自主事業では市も関わって新しい展開を考えていきたい。」

福祉教育委員会
委員長 伊藤 正陽

議案第 59 号 全会一致で 
**公の施設の指定管理者の
 指定について（茅野市温泉施設）**

茅野市温泉施設の指定管理者を、茅野市総合サービス株式会社に指定するためのもの。指定の期間は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで。

問「他市町村では指定管理者の制度の運用基準を公表しているところもある。ホームページでは見当たらないが指定管理者制度運用基準は茅野市にもあるのか。」

答「指定管理者制度に関する運用指針がある。条例第 4 条で規定する公募による場合と公募によらない場

⑧

本会議における討論

反対討論

「給付は高齢者、負担は現役世代という従来の社会保障、社会保障の構造を見直し、高齢者への影響にも十分に配慮し、現役世代の負担を抑える措置を講じている。」
(長田近夫議員)

「将来の社会保障に向けて必要なこと。財源不足を現役世代に負担を負わせ、世代間の負担の公平性をゆらく結果を招きかねない。」(両角実晃議員)

「子どもがもう少し産みやすいような社会をつくるためにも、若い世代に、これ以上の負担をかける、迷惑をかけることは反対。」(東城源議員)

賛成討論

「所得に対しての負担割合が、長野県では 8.43%と高水準。影響が出ないのは、外来でたった 3%で、96%に影響が及び、61%の負担額が二倍と予測され、改定案では配慮措置も不十分。」(望月克治議員)

「岸田政権は新しい資本主義で、労働配分率を適正化すると言っている。支える側の所得が上がれば高齢者の医療費をまかなえる。政策の結果をみてから判断すべき。」(竹内巧議員)

「現役世代の負担が軽くなるのはわずかであり、その方たちが後期高齢者になったときに負担する額の方が多くなる。市民が安心して老後を暮らすため現状維持。」
(木村かほり議員)



⑦

「ままだと全体の合計が減るので、本体の出産育児一時金を上げて、今までの 42 万円を維持し子育て等を支援するため。」

請願 1

75 歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書



採択の意見

「医療費の多寡に関わらず受診者負担の金額は、少ないに越したことはない。生活の安心の基本は健康。75 歳以上の後期高齢者が健康で暮らせなくなってからの医療費負担はできる限り少なくしておきたい。公費、もしくは、全体で、高齢者を支えていく姿勢であれば、この訴えはもっとも。」

「健康都市の取組をしている茅野市には、高齢になっても安心して過ごせる市であって欲しいと思う。ここで後期高齢者の負担を増やすということには反対。こういった声を地方議会から国に上げていくことが大切。」

「若い世代が高齢者を助け支えていく仕組みが大事。医療費については受診者負担の考えはおかしいと思っている。医療費が 2 倍に上がれば、病院に行き控えをすることが考えられるためこの請願に賛成。」

不採択の意見

「医療費負担には上限があって、補填される部分もあり、改定によって全員が苦しくなるというわけではない。お金のある人の負担を増やして、ない人の負担を少なくしていくことが、金銭的な上での平等だという考えからこの請願に全面的に賛成はできない。」

「後期高齢者医療にかかる費用は、患者負担を除いて約 5 割を公費、4 割を現役世代からの支援金、残りの 1 割を後期高齢者の保険料で賄っている。少子高齢化が進み、2010 年から 2020 年で 1.5 倍くらいの支援金が増えている。団塊世代が 75 歳になり始めるとさらに現役の世代の負担が増えることが予想される。今回の改正の意味は、今後の少子高齢化に向けて、給付は高齢者に、負担は現役世代を中心という従来の社会保障の構造を見直すことで高齢者への影響にも十分に配慮している。医療費が高額になる場合には、高額医療療養費制度の適用により負担が軽減されている。以上のことから不採択。」

12月定例会の議決結果と各議員の賛否一覧及び報告

付託委員会 総…総務環境 経…経済建設 福…福祉教育 予…予算決算
 ○…賛成 ●…反対 ※議長は採決には加わりません。

番号	件名	付託委員会	議決結果	両角 実晃	木村かほり	吉田 基之	竹内 巧	伊藤 正博	机 博文	東城 源	木村 明美	小尾 一郎	矢島 正恒	伊藤 勝	長田 近夫	伊藤 正陽	伊藤 玲子	野沢 明夫	望月 克治	松山 孝志		
市長提案	55	令和3年度茅野市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の承認を求めることについて	付	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	56	令和3年度茅野市一般会計補正予算（第11号）の専決処分の承認を求めることについて	付	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63	茅野市農業委員会委員任命の同意を求めることについて	付	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	市道路線の認定について（ちの横内地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58	市道路線の認定について（玉川長峰地籍）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59	公の施設の指定管理者の指定について（茅野市温泉施設）	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60	公の施設の指定管理者の指定について（茅野市ワーキングスペース）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61	公の施設の指定管理者の指定について（茅野市白樺湖温泉総合施設）	経	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62	公の施設の指定管理者の指定について（茅野市高齢者福祉センター）	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64	茅野市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例及び茅野市個人情報保護条例の一部を改正する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65	茅野市情報プラザ条例を廃止する条例について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	67	茅野市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	福	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	68	令和3年度茅野市一般会計補正予算（第12号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	令和3年度茅野市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
70	令和3年度茅野市一般会計補正予算（第13号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
71	令和3年度茅野市一般会計補正予算（第14号）について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
諮問	2	下水道使用料の賦課及び徴収に関する審査請求に係る諮問について	総	審理員意見を妥当と認める。なお、意見を付する。	○	●	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願	1	75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書	福	採択	●	○	●	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	
議員提出議案	18	意見書案の提出について（後期高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める）	付	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
報告	12	専決処分の報告について	付																			

議決日は、12月17日の議会最終日（但し、議案第55、56、63号は11月29日の開会日に即決）

茅野市の課題を問う!

茅野市ホームページから一般質問の録画映像がご覧いただけます。また、同ホームページの『会議録検索システム』より会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

12月定例会一般質問通告一覧

	件名	要旨
野沢明夫	1 短期の職員採用について	(1) 緊急的業務対応時の職員採用の募集条件と方法は (2) 職安対応以外の独自対応の状況は (3) 過去の採用者名簿等の管理状況は (4) 再任用を繰り返し、長期採用の職員の正規雇用の考えは
	2 民間保育園の活用について	(1) 民間保育園の評価、園児数の状況は (2) 私立保育園への財政措置とその経営の安定性は (3) 公立保育園の民営化促進の予定は (4) 大規模改修と統廃合の判断時期はいつ頃か
	3 入札について	(1) 電子入札と事後審査とは (2) 入札辞退の取扱いは
吉田基之	4 デジタル化への推進施策について	(1) デジタル化推進のための人材育成や人材確保について (2) デジタル化推進へ市民に理解を求める施策について (3) デジタル化推進への具体的な施策について
長田近夫	5 おひとりさま等の終活支援について	(1) 市の考えについて (2) 専用窓口を設ける事について
	6 ハイリー・センシティブ・チャイルド (HSC) について	(1) 学校現場での周知について (2) HSC と不登校との関係について
矢島正恒	7 新しいまちづくりに向けた今井市政の更なる取組について	(1) 市長が目指す「新しいパートナーシップのかたち」について (2) これからの「まちのすがた」を示す後期基本計画について (3) SDGs を念頭においた環境政策の積極的な取組について (4) 「市農業支援センター」の体制の充実と、明日に向かう農業政策策定の専任について (5) ふるさと納税返戻品ラインナップ拡充による更なる自主財源の確保について
木村明美	8 これからの少子化対策について	(1) 茅野市の婚姻の現状について (2) アフターコロナにおける結婚支援について (3) 茅野市が目指すスーパーシティにおける少子化対策の考えについて
小尾一郎	9 脱炭素への市の取組について	(1) 脱炭素に対する市の認識について (2) 脱炭素への市の方針 (3) 脱炭素への市の具体的な取組について
机博文	10 地域における災害に強いまちづくりについて	(1) 防災意識の向上と「新たな避難情報等」の周知について (2) 地区防災マップの活用とマイタイムラインの普及について (3) 災害危険箇所等における対応策について (4) 防災士の育成と自主防災組織の強化について (5) 災害時における国道 20 号の迂回路等の課題について
伊藤正博	11 公共施設における管理の広域連携について	(1) 公共施設再編計画の進行状況について (2) 諏訪広域圏における公共施設の広域管理について (3) 陸上競技場の改修について (4) 国際スケートセンター (NAO ice OVAL) の方向性について
竹内巧	12 地球温暖化対策の推進と環境・景観の調和について	(1) 茅野市の地球温暖化対策の現状について (2) 茅野市が描く「茅野市に相応しい脱炭素社会の姿」について (3) 「促進区域」の考え方について (4) 市民及び民間企業の意欲を掻き立てる方策について (5) 組織横断的な対応が求められるゼロカーボン政策を、総合的かつ重点的に所管する部署の必要性について

	件名	要旨
両角実晃	13 生活・観光道路を安心安全に利用するための道路整備の取組について	(1) 市としての道路危険個所の現状把握及び区・自治会からの要望箇所の取扱いについて (2) 道路整備の取組の現状について (3) 危険性のある支障木の取扱いについて (4) 湯川バイパス開通後、移管される予定の道路整備について
東城源	14 「茅野市の財政」は健全でしょうか	(1) 茅野市の財政状況は (2) 基金取崩しなしの予算は編成できるか (3) 大型事業への対応は (4) 健全化の決め手は
木村かほり	15 災害時の避難における課題について	(1) 障がいを持つ方についての取組 (2) ペットを飼っている方についての対応 (3) それぞれのガイドラインとその周知方法 (4) 今後の方向性
	16 茅野市におけるデジタル活用への取組について	(1) デジタルを活用する市民に求められること、スキルはなんですか (2) 現状としてどのような取組がありますか (3) 市民へのデジタルシチズンシップの取組の可能性は (4) 学校におけるデジタルシチズンシップ教育の今後の取組は
伊藤勝	17 道の駅「ビーナスライン蓼科湖」について	(1) 茅野市の敷地の建築物なのに何故建築確認申請がされなかったのか (2) 道の駅の物産店に対して市はどのような認識なのか (3) 蓼科の活性化の考えの中で今後物産店を含めどのような展望を持っているか。また、その具体的な施策は何か
	18 DMO への支援について	(1) 地域おこし協力隊員の現状について (2) 地域おこし協力隊員の役割は何か (3) DMO の長期ビジョンはあるのか
伊藤正陽	19 新地域公共交通システムについて	(1) 通学・通勤バスの運行路線について (2) 通学・通勤バスのダイヤについて (3) 通学・通勤バスの料金について (4) 通学・通勤バスの利用者予測について (5) フルオンデマンドタクシーの長所短所について (6) フルオンデマンドタクシーの利用者予測と料金設定について
	20 子育て支援について	(1) 子育て世代の所得状況について (2) 学年費、給食費など学校の徴収金の現状について (3) 学年費、給食費など学校徴収金の軽減について
望月克治	21 自治体戦略 2040 構想を踏まえた課題と解決策について	(1) 新たな自治体行政への対応について (2) 高齢化が進む中の福祉施策について (3) DX と言われる社会環境の変化に即しての子育て支援策について

令和3年12月定例会 請願 議決結果

番号	表題	趣旨	提出者	採決結果	
				委員会	本会議
請願 1	75歳以上高齢者の医療費窓口負担の現状維持を求める請願書	単身者年収 200 万円以上の後期高齢者の医療費窓口負担が 2 割になる法律が可決されたが、高齢者の暮らしと健康、命を守るために、国に対し、現状を維持するよう意見書提出を求めるもの。	諏訪地方社会保障推進協議会	採択	採択

各常任委員会の活動をお知らせします



《総務環境委員会》



直近の10月から12月の議案審査以外の活動について報告をさせていただきます。

スーパーシティ特区に市は応募をしました。このスーパーシティに欠かせないのが、デジタル技術により社会システムを根底から変えようというDX（デジタルトランスフォーメーション）です。また、太陽光発電設備設置を抑制したほうがいいのか、推進したほうがいいのかという課題があります。この二つの課題について、理解を深めるべく、市行政側と意見交換を実施しました。

茅野市が目指すまちづくりの方向性
未来都市・茅野

人手不足を技術が補うと共に、よりパーソナライズされたサービスを提供することで暮らしやすさを実感できるまち

統合

デジタルを活用し、ビジネスや暮らしを革新する

内閣府において推進するデータ駆動型社会 Society5.0

サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会

出典:内閣府HP

DX
Digital Transformation

まんなかに愛のあるまち
CHiNO
茅野市

茅野市スーパーシティ構想のねらい

何のための“未来都市・茅野”スーパーシティ構想？

それは“住民のしあわせのため”であるべき

地方自治法第1条の2
「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、…」
すなわち 住民のしあわせのため

疑問：最新技術の導入だけで
本当に健康福祉、公共交通、安全…の
理想的な形が実現できるのか？

まんなかに愛のあるまち
CHiNO
茅野市

意見交換会での市の説明資料



《経済建設委員会》



経済建設委員会協議会として、道の駅「ビーナスライン蓼科湖」について、10月25日に観光を所管する部課長と意見交換を行いました。

道の駅併設の物産店の確認申請がされずに違法建築に至った経緯の説明をお聞きしたのち、議員からの質問は確認申請に対し市と事業者の認識の違いはなぜか、取り壊した建物はどうなるのか、今後の湖畔周辺の考え方、など多くの意見が出ました。市としては今後物産店だけでなく他の機能を持ち合わせたものを関係者と検討したいとの話でした。

1月以降の活動として、商工課からコロナ禍で中小の会社や飲食関係などの実態調査の聞き取りや観光関係でDMOとの意見交換も考えています。



玉川小学校のタブレットを使った授業



《福祉教育委員会》



野あそび保育ささはら（上下写真）

「野あそび保育ささはら」の視察に行きました。昨年度まで公立保育園でしたが園児の減少で廃園になる計画を地域の要望で残すことになり（有）ネイチャーセンターが引き継ぎました。地域の自然環境を活かした「森のようちえん」が好評で定員を超える申し込みがあるとのこと。保育料は給食費も含め公立園よりも月プラス数千円とのことでした。

玉川小学校でのタブレット端末を使った授業の参観もしました。茅野市は全国に先駆け平成29年度よりタブレット、パソコンでの指導を実施しているとのこと。「どの子どももキーボードへの入力が上手で驚きました。」との委員の声でした。



議会改革が進められています

～議員定数・報酬と議会基本条例の2部会（各9名）中間報告～

《議員定数・報酬部会（9名）》

部会では5回の会議で検討を重ねています。まず、長野県下自治体議会の定数・報酬を把握し、茅野市の現状を確認するとともに、全国の人口同規模の自治体の定数・報酬を調査し、全国での茅野市の位置を確認しました。結果として、定数はほぼ中位の値で、報酬に関してはやや低いところであることが解りました。その他にも、議長・副議長の手当の比較を行い、こちらもやや低いことが解りました。

茅野市議会では、現在常任委員会の活動を活発化し、調査研究を進めて提案力をつける取組を進めています。議会だよりでもその活動をお伝えしています。この取組は、委員長に多くの労力を求めることにもなるので、委員長手当の有無とその額なども調査した結果、手当がある議会は少なく、都道府県ごとに偏りがあることと、その額もまちまちであることが解りました。今後報酬の検討と同時に、こうした手当と政務活動費についても検討を重ねていく予定です。

調査を基に、定数と報酬についての各委員が考えをまとめて提案し、検討を重ねています。定数・報酬ともに、増から減までの提案が出ています。定数については、常任委員会の委員数構成を考慮しての提案や、議長の職務専念から委員会所属を外しての定数の提案もありました。また、各地の議会選挙で無投票が増えるなど、議員のなり手不足が起きている中で、議員報酬引き上げの提案もありました。他にも、定数と報酬を結び付けての提案もあり、様々です。

茅野市議会として市民に認められる、活発な活動ができる体制を維持していくために必要な定数と報酬を検討してまいります。

≪ 議会基本条例部会（9名） ≫

茅野市議会の活性化や議会の改革の取組としまして、「議会基本条例」の制定について、令和3年6月より議会基本条例部会を設置し、既に条例を制定している先進地の視察やそれら市町村の条例内容を参考に、条例の制定の意義や条例の内容について検討を重ねて参りました。

議会基本条例とは、議会及び議員の活動の充実と活性化を図ることを目的として、議会運営に必要な基本事項を定めた条例であります。また、条例では、住民の皆さんに議会のあるべき姿を条例で示すとともに、議員の行動や守るべき基本的な事柄を条例に明記し、議員の自己啓発と市民への理解についても明記しているものです。

条例の内容は、最初の前文に続き、第1章「総則」で目的を表記し、第2章では「議会及び議員の活動原則」を、第3章で「市民と議会との関係」を、第4章で「議会と市長等との関係」を、第5章で「議会の機能強化等」をそれぞれ表記しており、最後に第6章で「他の条例との関係・検証及び見直し」を表記し、六つの章で構成しています。

今後、議会内で条例内容について更に検討を重ね、条例の制定を目指します。



11月9日 豪雨災害（9月5日）のあった宮川高部地区へ議会視察を実施しました。

県と市の職員から災害現場の様子、復旧状況の報告を受けました。災害廃棄物処理、全壊家屋処理への補助もありますが、治水工事などまだまだ時間がかかりそうです。被災された地域の一日も早い復旧を祈ります。

傍聴にお越しく下さい：次回の日程は右記のとおり

傍聴を希望される方は当日議会棟3階までお越しく下さい。

ホームページから議会を見ることができます

本会議はビーナチャンネルとホームページ（▶QRコード）で生中継と録画をご覧いただけます。



3月定例会本会議日程予定

- 2月22日（火） 開会、提案説明、先議案件採決
- 3月2日（水） 議案質疑、委員会付託
- 3月4日（金） 一般質問
- 3月7日（月） 一般質問
- 3月8日（火） 一般質問
- 3月18日（金） 委員長報告、採決、閉会

編集後記

オミクロン株の世界的拡大による恐怖が続き、未だにマスク着用などから解放されていませんが、日常の中ではデジタル化は進んできています。私たちの生活は新しい時代を構築していかなければならない局面に来ているように思えます。議会も「議会だより」も同様に考え、常に市民の皆さんに寄り添ったものにしていけるよう取り組んでいます。今回の特集は、10月に行われた議会報告・意見交換会の様子と各常任委員会の活動を掲載しました。

伊藤 正博

● 議会広報部会 ●

- 部会長 望月克治
- 副部会長 木村かほり
- 部員 伊藤正博、机 博文、伊藤 勝、伊藤正陽、伊藤玲子、野沢明夫

